

Q1 今冬の除雪対策に万全を期せ

質問 手取川の濁水の影響で、消融雪装置のパイプノズルの目詰まりや、水位の低下により水量不足が心配されるので、今年は早い段階で点検調査を行うべきである。さらに、県道の消融雪装置に対しても、石川県に、点検調査の依頼をすべきである。

答え 通常より早めに点検を実施する。県道に関しては、県も事前の点検を予定しているとの返事であり、県と連携を図っていく。

質問 除雪機械オペレーターの育成・確保のため、県の除雪機械操作技能研修会に積極的に受講をすべきである。さらに、除雪機械オペレーターの育成・確保のため、職員の育成も必要であるが、どうか。

答え 業者に積極的に受講していただくよう指導していく。職員のオペレーターの育成・確保は、現在、考えていない。

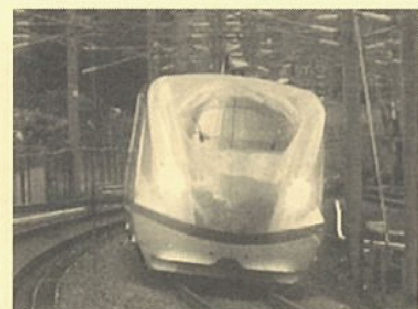
Q2 地域賑わいづくり宿泊補助金制度を拡充せよ

質問 新幹線開業効果や白山白川郷ホワイトロード通行料値下げの効果を活かすため、リピーターの拡大のため、年度1回の補助や、現状の500円の助成金の増額や、引率者の補助対象者数を増やすべきである。

答え 制度の利用者に大きな伸びが見られないことから、受け入れ先となる宿泊施設と利用者からニーズ調査をして再点検したい。

質問 ふるさと納税者も対象とせよ。

答え ふるさと納税者は対象としない。



てらこし和洋のプロフィール

昭和33年3月4日生まれ
 昭和48年3月 白山市立鶴来中学校卒業
 昭和51年3月 県立金沢錦丘高等学校卒業
 昭和55年3月 神奈川大学経済学科卒業
 平成7年4月～ 旧鶴来町議会議員
 平成17年3月～ 白山市議会議員
 平成19年3月～20年3月 白山野々市広域事務組合議会議員
 平成23年3月～24年3月 白山市議会副議長(第7代)
 平成25年3月～26年3月 白山石川医療企業団議会議員
 平成26年3月～27年3月 白山市議会議員(第10代)

主な役職

白山市サッカー協会会長/白山市相撲連盟会長/石川県フィンランド友好協会副会長/石川県サッカー振興議員連盟会員/クレイニングラウンドゴルフクラブ会長/元秋田大保存会石川県支部展覧会名誉会長

Q3 職員のメンタルヘルス対策は

質問 職員が仕事上の悩みにより精神的ストレスで、休職状態の職員数と、過去3カ年の退職した職員数と、消防職員を含めメンタルヘルス対策を示せ。

答え 現在、休職・休暇者は4名で、退職者は平成24年度に1名いた。そして対策として、市主催の研修を毎年開催している。消防職員も、毎年消防本部主催で研修を開催している。今年度はカウンセリングに関する内容で開催する予定。

質問 外部の専門医や専門のカウンセラーと連携が必要であるが現状は。そして、未病対策の現状は。

答え 専門的見地からは、県市町村職員共済組合の健康相談窓口を活用している。未病対策として、労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度の義務化より、来年度から制度の導入を行う。

Q4 公文書管理はどうなっているのか

質問 公文書と歴史的な古文書の保管管理体制は。支所及びサービスセンターの文書管理は、どのようになっているのか。

答え 本庁地下倉庫を保存場所としている。そして、合併前の文書は各支所、サービスセンターに保存、文書取扱主任を中心に文書の適正な保存と破棄に努めている。

質問 公文書管理条例を制定の考えと、公文書館の建設の必要の有無は。北庁舎を公文書館として活用せよ。

答え 当面は、市文書管理規程に基づいて努めていく。公文書館については、施設の整備費や人件費などハードソフトで多額の費用が必要であり現段階は考えていない。



議会での役職

予算常任委員会委員長(初代)/広報広聴常任委員会委員長
 産業建設常任委員会委員/地方創生特別委員会委員
 白山石川医療企業団議会監査委員

てらこし和洋後援会事務所

白山市議会議員 **寺越 和洋**
 てらこし かずひろ
 ●E-mail terakos@asagaotv.ne.jp
 ●メールアドレス terakoshikazu@docomo.ne.jp
 ●メールアドレス terakoshikazu@gmil.com
 〒920-2146 白山市日向町和110番地 TEL・FAX 076-272-2789

白山市議会議員

てらこし和洋
白山市議会通信

2015年 秋号



菊香る今日この頃、貴台始めご家族の皆様方におかれましては、益々ご清祥にてお過ごしのこととお慶びを申し上げます。

さて、今年もあと2ヵ月ばかりになりました。早めの冬仕度をお願いし新しい年をご健勝にお迎え頂ければ幸いです。

白山市議会も、今までにない26日間の長丁場の8月会議が終わり来年度予算の編成にかかっています。8月会議は、決算委員会をこれまでの特別委員会から常任委員会に変更したため長い議会審議になりました。これは、9月に決算を認定することで次年度の予算に反映させるためであります。

ちなみに、合併10年目の決算は、おおむね良好でありました。一般会計歳入548億円、歳出531億円、特別・企業会計合わせた総額歳入864億円、歳出862億円となりました。今後5年間国の合併関しての交付税が段階的に減額されてきます。将来的には、国からの交付税も、85億円～90億円位で推移していくと思われま。そんな中、一人当たり40万円位の予算編成となっていくと思えます。平成26年度決算は良好と成りつつも依然として市民の皆さんの希望に叶うような市政状況ではありません。今後とも厳しさの陰が見え隠れする財政状況ではありますが、無駄遣いの無い税の使途に注視していきます。

さて、国政の方では、安保法制の強行採決があまり見栄えが良くないと思えます。

与党内での十分な審議に不安を感じましたし、野党の代替案の無い、ただただ審議の引き延ばしには幻滅を感じました。どの政党も国民感情を聞くことが大切であると実感しました。

そんな中、石川県から久しぶりに、大臣が誕生いたしました。馳文部科学大臣には、文部行政・科学行政の推進や、2019年のラグビーワールドカップや2020年の東京オリンピック・パラリンピックの成功のためにご尽力にご期待をいたします。また、岡田財務副大臣には、将来の社会保障の充実や財政の健全化など地方創成の具体策や北陸新幹線の大坂までの早期の開業にご期待いたします。

そして、石川県では、新幹線の開業効果が依然として金沢中心の効果しか見られないようであります。金沢市の地価の上昇や物価等の上昇など首都圏の単価に成ってきているようであり、地元の方々の生活に対してのフォローに期待をいたします。白山市議会では、予算、決算、広報広聴の3つの委員会をいつでも開催のできる常任委員会化としました。

私は、3月から議長職を終わったあと初代の予算常任委員長として公正公平なる委員会の運営を行っているところであります。通年議会同様いつでも委員会の開催ができる事から、スピーディなる予算の執行により市民サービスの向上に努めて行きます。

さらに、2回目の広報広聴常任委員長として、これまで以上に市民の皆さんと議会の距離を縮める親しまれる議会として「議会だより」のリニューアル化や議会報告会の企画立案など努めています。

市行政としては、新幹線効果を活かす施策や白山白川郷ホワイトロードの交通量増の効果を活かす施策が必要であります。

そして、さらなる地域間の格差是正や地域間の距離を縮める施策を始め、今後は施設の計画的な改修や建設など、市民の皆さんが使いやすい総配合に努めていかなければなりません。

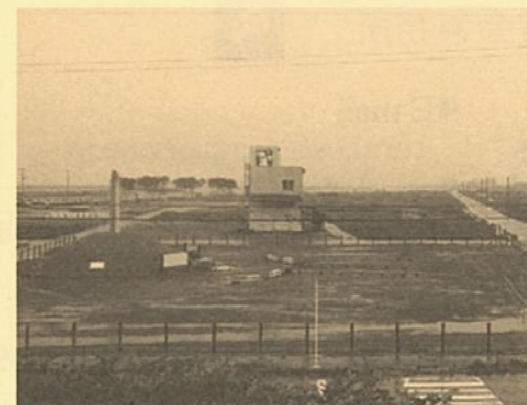
さらに災害列島日本と言われるよういつどこで予期せぬ災害が発生するわけであり安心して暮らすため安全なまちづくりの推進を図っていかねばなりません。

今後は、いろんな機会を通じて皆様方から市政に対するご意見を頂戴いたしたく思います。そして、皆様のご意見を活かして市民の負託に応えていきたいと思えます。

今後さらなる、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願いを申しあげ、終わりに、皆様方の暖かいご支援ご厚情に、感謝とお礼を申し上げ、ご家族皆様方のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。



寺越和洋の主な活動



復興への道のり (七月十六日) 3.11の震災の跡地 宮城県名取市 関上地区



手話言語法の制定に向けた (八月二日) 平井伸治鳥取県知事の講演会



さらなる議会改革へ(九月十六日) 山梨学院大学 江藤俊昭先生と意見交換